

# 善光寺街道 郷原宿

続編



出典  
「善光寺街道協議会」



家々には屋号が掲げられている。右は以前の背丈もある屋号や戸長役場の看板。

古井戸は、市史跡に指定されている。



平入り横屋造りの建物

街道を走る  
(第1回 塩尻ぶどうの郷ロードレース)

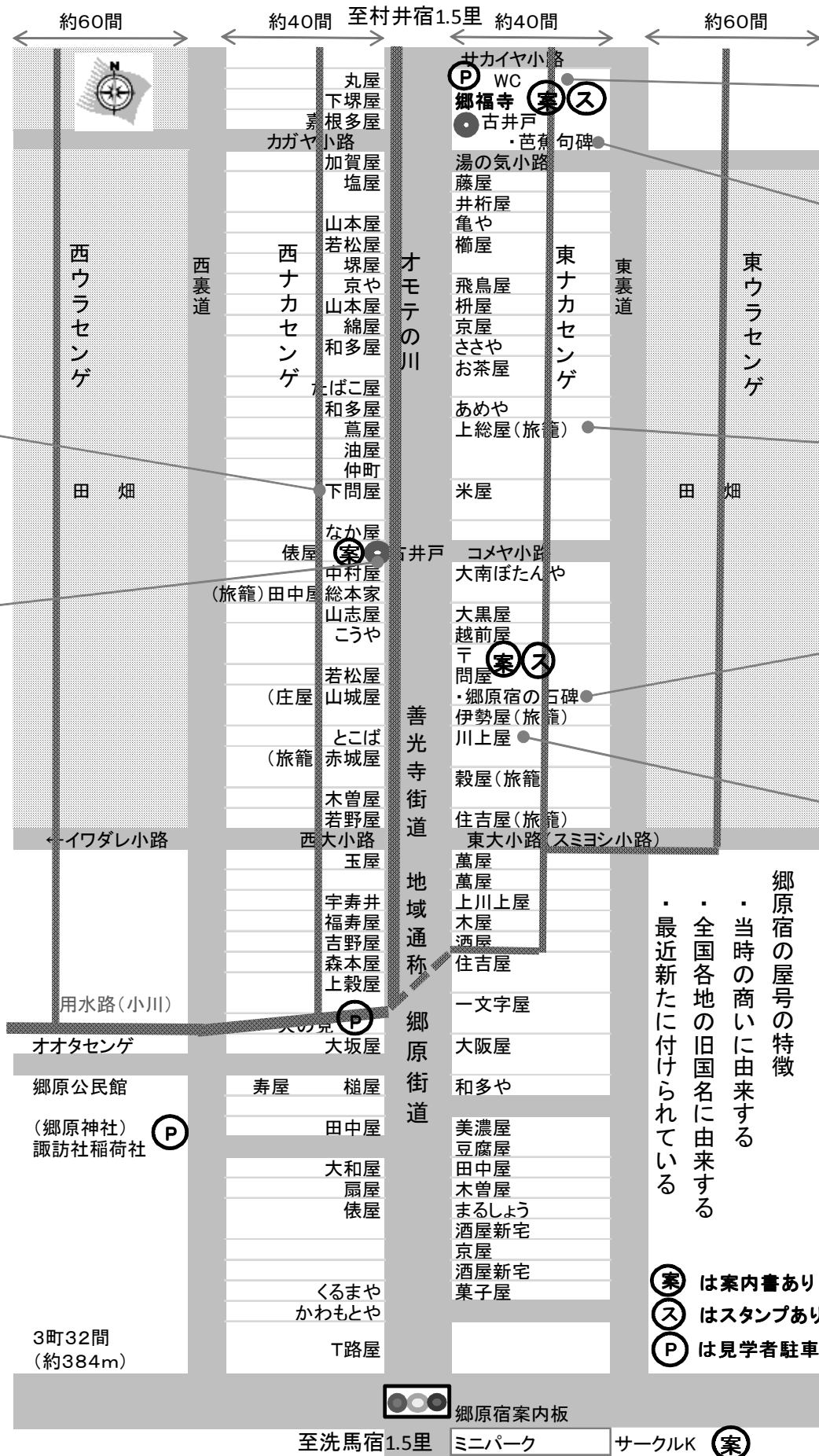


ようこそ 郷原宿へ



ほぼ直線的な街道

## 市史跡 郷原宿の区画割と古井戸 として屋号



郷福寺  
本堂  
明治天皇御座所  
成田山不動堂  
薬師堂  
鎮守稲荷大明神



切り妻本棟造りの建物

- 郷原宿の屋号の特徴
- ・ 当時の商いに由来する
  - ・ 全国各地の旧国名に由来する
  - ・ 最新新たに付けられている

- 案内書あり
- ⊗ スタンプあり
- Ⓟ 見学者駐車場

### 私たちの郷原宿 案内

善光寺街道が造つられて、400年ほどになります。慶長(けいちょう)19(1614)年、松本のお殿様、小笠原秀政公により郷原宿が制定されました。

街道は、ほぼ直線的な道筋で、区画割が整然と整備されています。桔梗山郷福寺から火の見櫓(やぐら)まで3町(ちょう)32間(けん)(約384メートル)が郷原宿で、家々には屋号が掲げられています。

桔梗ヶ原台地にあつたため、水は緊急の課題であり、奈良井川上流の琵琶橋付近から引水して、用水として利用していました。また、飲料水として20メートル近い深井戸を掘って、みんなで管理していました。

屋根の棟飾りに特長がある切妻本棟造(きりづまほんむねづく)りは、塩尻や松本地方に多く見られます。棟飾りは「すずめおどり」、「すずめ返し」と呼ばれています。

再建された街並は、ここを昭和26年ころ訪れた柳宗悦(やなぎむねよし、またはそうえつ)氏が「宿場全体がまことに見事な一個の作品だといってよい」と絶賛したとされています。

家屋敷(いえやしき)に前庭があり季節、季節の草花、樹木が清々しく、ここを訪れた旅人たちの疲れを癒し、元気を与えたことでしょう。

郷原宿を愛する会  
(代表 臼井友喜 TEL: 0263-52-2085 Mail: usui.yuuki@maroon.plala.or.jp)  
続編(写真版) 第1版発行 2010年9月

# 「郷原宿」検定 中級編

これが解れば郷原宿の通！

Q1 現存する古風な建物は、何年前に建てられた？

- a 400年前
- b 250年前
- c 150年前

Q2 段丘上に5本の用水路(センゲ)がある。水はどのように？

- a 奈良井川の揚水
- b 奈良井川から引水
- c 地下水

Q3 街道沿いの用水路はかつてどこを流れていた？

- a 街道にはなかった
- b 現在と同じ西側沿い
- c 街道の中央

Q4 塩尻には5街道が集中。さて郷原宿を通る街道は？

- a 善光寺街道
- b 中山道
- c 伊那街道(三州街道)

Q5 街道を歩き来した荷物で多かったものは？

- a 材木
- b 米
- c たばこ、茶

Q6 1711年の御定目書に記された隣宿への運賃(駄賃)は？

- a 約 100円
- b 約 1,000円
- c 約 10,000円

Q7 郷福寺には、松尾芭蕉の句碑がある。信濃にはいくつある？

- a 約 3基
- b 約 30基
- c 約 300基

Q8 明治初期の「明治日本旅行案内」に書かれた郷原宿とは？

- a 泥道で綺麗ではない
- b 見事な一個の作品である
- c 平凡な普通の宿場である

Q9 郷原宿は桔梗ヶ原の地にある。この地の特徴は？

- a 肥沃な地
- b 湿地
- c 乏水性台地

Q10 幕末にこの台地で試みたことは？

- a 水田化
- b 畑化
- c 森林化

## 解答と解説

Q1 現存する古風な建物は、何年前に建てられた？

A1 c 150年前



文政4(1821)年郷原宿が大火となり、堅石村も延焼した。安政5(1859)年にも、郷原宿は大火にみまわれて全焼し、堅石村も南半が類焼した。それ以後建てられ、古い建物は、緩い勾配の切り妻屋根で、妻側を正面とする本棟造りと平入り横屋造りが混在する威風堂々とした外観を与えている。中に

は移築した古い建物もある。最近では建て替える家も多くなった。

Q2 5本の用水路(センゲ)の水はどこから？

A2 b 奈良井川から引水

河岸段丘の地、奈良井川からの揚水を試みたが失敗した。遥か4km上流の洗馬の琵琶橋下から取り入れ(写真右の支流)、高低を緻密に計算して段丘をクリアすることができた。先人の苦労がうかがえる。現



在は土地構造改善により、洗馬地区の一部が地中を通り全容を見ることはできない。

Q3 街道沿いの用水路はかつてどこを流れていた？

A3 c 街道の中央

明治初期の資料によると、用水路は街道中央を流れ、左右を人馬が行き来する道となっていた。明治30年ころ西側に移動し、道幅が拡張された1本の道となった。西側は家の前に比較的広い庭が確保され、他の宿場町と異なる景観を創っている。

Q4 塩尻には5街道が集中。さて郷原宿を通る街道は？

A4 a 善光寺街道

地元では、郷原街道とよんでいる。塩尻の地には5街道が集中している。中山道、善光寺街道、伊那街道(三州街道、高遠道)、千国街道、五千石街道である。江戸へ、京へ、善光寺へ、岡崎へ、松本(竹淵)へ、塩の道糸魚川へ。そして人馬が行き来したこの地に多くの宿場ができた。またこの地は太平洋、日本海への分水嶺があり、50kHz、60kHzの電気周波数変更地、鉄道の分岐地でもある。

Q5 街道を歩き来した荷物で多かったものは？

A5 c たばこ、茶

1700年ころの青柳宿継立荷物では、善光寺方面からはたばこ荷、善光寺方面へは茶が一番多かった。郷原宿の資料はないが、予想に難くない。材木は川を舟で下ったとされる。

Q6 1711年の御定目書に記された隣宿への運賃(駄賃)は？

A6 b 約 1,000円

問屋には、高札場に掲げたとされる御定目書(正徳元年-1711)がある。隣宿まで1.5里あり、人足吾人洗馬宿26文、村井宿24文と書かれている。当時の1文は、現在の労賃基準で約40円相当であり、運賃は1,000円前後となる。お米で換算すると、当時の食べ物は非常に高価であったため、3~3.5合程度である。

Q7 郷福寺には、松尾芭蕉の句碑がある。信濃にはいくつある？

A7 c 300基

郷福寺境内に「野を横に馬曳む計よ郭公」と詠まれた、芭蕉句碑があります。絶大なる芭蕉翁の探求者が拓本を採ったりして、善光寺街道を歩き来しています。全国で3,000基以上(新更科紀行)あるとされていますが、中でも信濃には多く300基の句碑が建てられています。

Q8 明治初期の「明治日本旅行案内」に書かれた郷原宿とは？

A8 a 泥道で綺麗ではない

幕末から明治初期に外交官として活躍したイギリス人アーネスト・サトウは、日本の美しさに惚れ、各地を旅した。郷原宿も訪れたが、この地の印象は「道路は泥道で綺麗でなかった」のようだった。確かにこの頃は大火間もないころでもあり、未だ再建の途上にあつたのかもしれませんが。その後日本民芸運動の柳宗悦(そうえつとも呼ばれる)が昭和26年に訪れ、「宿場全体がまことに見事な一個の作品だといってよい」と絶賛した。

Q9 郷原宿は桔梗ヶ原の地にある。この地の特徴は？

A9 c 乏水性台地

桔梗ヶ原台地は、表面は厚い火山灰、ローム層で覆われているが、下部は厚い砂礫層であるため地下水が低く、地表から20~30m下に及んでいる。井戸は深く、灌漑用水を得ることは不可能で、平坦な地形にも関わらず耕地化が進まず、長い間人の住まない不毛の原野となっていた。

Q10 幕末にこの台地で試みたことは？

A10 a 水田化

文政13年(1830)年、床尾村の吉之助らによって水田開発計画を推進しようとしたが、莫大な費用、その調達、技術的困難さにより成功しなかった。しかし、畑地の開発は進み、粟と蕎麦を一毛作として交互に栽培する2年2次の輪作が行われるようになった。現在は、ぶどう、りんご、なし等の果樹、アスパラ、レタス等の蔬菜の栽培が盛んである。

出典、参考文献

「塩尻市誌」 塩尻市

学習ガイド「しおじり学びの道」 塩尻市

交通史話 小松克己著

「新更科紀行」 信濃毎日新聞社

善光寺街道歩き旅推進局資料

初編は、塩尻市観光協会ホームページ「時めぐり旅のおともにーてくてくマップーてくてくマップ郷原(PDF)」をご覧ください。

<http://www.tokimeguri.jp/kawaraban/teku4.pdf>

